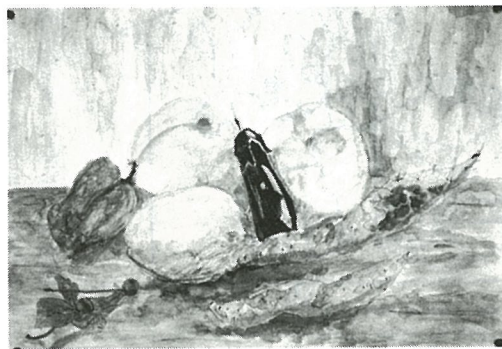




6年 齊藤真由美



くだもの 野菜 植物の絵

シリーズ ④2

我が家の家庭教育

篠本二区 花澤 和子

小学二年生と保育園（六歳）に通っている、二人の男の子がいる我が家。

家庭教育というより、心掛けている点がいくつかあります。特に、挨拶は勿論、食事の作法、手伝い等も習慣として身につけてほしいと願ひ、躰には結構厳しくしています。又、自分で出来る事は、人に頼らず、自分でやらせています。出来

南条小で校内夏休み作品展



お友だちの作品「良くできてるね」

南条小学校では、校内の夏休み作品展が、九月七日から十二日まで行なわれまし

た。今年には理科の科学工夫作品や、へちまの研究など優れた作品が多く、これらの優秀な作品には金賞が贈られました。

東陽小では

稲の収穫

九月八日に東陽小学校の五年生が稲刈りをしました。

鎌を手慣れない手つきで稲を刈る児童に「危いから気をつけて」と監督する先生方も一生懸命、この日は、広報九月号でお知らせした「ヨッツオ」も大活躍



なかなかむずかしいね、稲刈りって

していました。収穫したお米で、親子ライスカレー教室が行なわれる予定もあるそうです。楽しみですね。

ない事でも、機会を与えて、家族で協力し体験させています。たとえ失敗に終わっても、挑戦したことを誉め、「又、頑張つてごらん」と励まします。

体験を通して得たものを、大切に、常に自らチャレンジする勇気を、持ち続けてほしいと思います。

兄弟喧嘩が始まって、無理に止めず、お互いが納得するまで続けさせ、最後が私の出番で、判決を下します。そして、悪い方が素直にあやまる。といった方法で処理します。

喧嘩もそうですが、失敗や問題が生じた時子供心に、悪かったことは十分わかっているはずですから、なるべく叱らず、

一緒に考え話し合い、そして反省させる様に、心掛けています。いつでも、冷静な時ばかりの私ではなく、事情によっては、強く叱り、罰も与えます。

どんな事でも、素直に話せば叱られない、という安心感があるのでしよう。息子達は、何でも話してくれます。

最近の子供達の姿を『立てば漫画(本)座ればテレビ(ゲーム)歩く姿は塾通い』と聞いたことがあります。本当は子供達だって、外で自由に遊びたいはずなのに、場所がないんです。勿論勉強も大切ですが、しかし、友達同志の遊びにだってルールがあったり、学ぶことも多いことでしょう。安全な所で、思いきり遊ばせてあげ

たい。時間の許す時は、子供達と一緒に遊ぶ様にしていますが、親より友達を選びます。

よく子供の話をする時、欠点ばかりを並べてしまいがちな私達です。短所と思つても、見方を変えれば、長所にも見えて来るんですね。子供と接する時間の一番長い私や家族が、上手に引き出して、伸ばしてあげなければ、折角の長所も隠れてしまう様な気がします。

子供の前で、つい欠点を指摘してしまふ点も含め、いろいろ反省しながら「人にやさしく、自分に厳しく、心身共にたくましく育て」と願っている我が家です。